

2014年中国APECのテーマ及び優先事項・主要論点

◆ APEC2014のテーマ:

アジア太平洋のパートナーシップを通じた未来の形成
(Shaping the Future through Asia-Pacific Partnership)



1. 地域経済統合の進展

(Advancing Regional Economic Integration)

- ✓ FTAAP(アジア太平洋自由貿易圏)実現の追求
- ✓ 多角的貿易体制の支持と保護主義抑止
- ✓ グローバル・バリュー・チェーンの促進
- ✓ その他貿易・投資の自由化・円滑化(サービス貿易の自由化、経済技術協力、電子商取引 等)

2. 創造的な発展、経済改革と成長の促進

(Promoting Innovative Development, Economic Reform and Growth)

- ✓ 構造改革(中所得国の罣の回避 等)
- ✓ 新たな経済(グリーン経済、ブルー経済、低炭素社会 等)
- ✓ 革新的成長(インターネット経済、技術革新 等)
- ✓ あまねく広がる成長(教育、女性、中小企業、保健、職業訓練、腐敗対策、食料安全保障 等)
- ✓ 都市化(持続可能な都市開発 等)

3. 包括的な連結性及びインフラ開発の強化

(Strengthening Comprehensive Connectivity and Infrastructure Development)

- ✓ 「コネクティビティ・ブループリント」の作成、PPP、インフラ開発投資、越境教育協力 等

2014年中国APECの優先事項・主要論点における主な成果(当省関連)

1. 地域経済統合の進展

- 情報技術協定(ITA)拡大交渉の重要性を強調。
- 環境物品協定(EGA)交渉立ち上げを歓迎し、メンバー拡大を呼びかけ。
- 「アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)実現に向けたAPECの貢献の北京ロードマップ」(首脳宣言附属書A)を承認。
- 「FTAAP実現に関連する課題にかかる共同の戦略的研究(collective strategic study on issues related to the realization of the FTAAP)」の立ち上げ、2016年末までに結果を報告。
- 「グローバル・バリューチェーン発展と協力推進のためのAPEC戦略的ブループリント」(首脳宣言附属書B)を承認。
- サプライチェーン/バリューチェーンにおける製造業関連サービスに関するイニシアティブを歓迎。
- 環境サービスの自由化、円滑化及び協力に関する取組を承認。【閣僚声明】

2. 創造的な発展、経済改革と成長の促進

- 「革新的な発展、経済改革及び成長に関するAPECアコード」(首脳宣言附属書C)を承認。
- 化石燃料のクリーンで効率的な利用の重要性を再確認。【アコード】
- 石炭に代わるエネルギーの早急な導入展開が困難な場合には、高効率石炭火力発電や炭素回収・利用・貯留等のクリーンコール技術の開発及び適用に向けた協力の強化。【アコード】
- 「APEC女性活躍推進企業50選」報告書を歓迎。【閣僚声明】

3. 包括的な連結性及びインフラ開発の強化

- 「2015-2025年APEC連結性ブループリント」(首脳宣言附属書D)を承認。
- ライフサイクルコスト、環境影響、安全性がインフラの質を構成する重要要素であることを認識。インフラ開発投資の質に関するセミナーおよびガイドブック(APEC Guidebook on Quality of Infrastructure Development and Investment)を歓迎。【閣僚声明】

成果1. 地域経済統合の進展(FTAAP「ロードマップ」)

2004年

ABAC(APECビジネス諮問委員会)が、アジア太平洋地域をカバーするFTA構想を提言。

2006年

米国がFTAAPを提言。APEC首脳は、長期的展望としてのFTAAPを含め、地域経済統合を促進する方法及び手段について研究を進めることを合意。

2010年

◆APEC首脳は「FTAAPへの道筋」を承認。

「包括的な自由貿易協定」
を追求

・FTAAPは、ASEAN+3、ASEAN+6、TPP協定といった現在進行している地域的な取組を基礎として更に発展させたものとして追求する。

APECは、FTAAPの
育ての親(インキュベーター)

・APECは、FTAAPの発展のプロセスにおいて、「リーダーシップ」と「知的インプット」を提供。
・APECは、FTAAPに含まれるべき「次世代型」の貿易・投資の課題を整理し、対処することに重要な役割を果たす。

2014年

◆APEC首脳は「FTAAP実現に向けたAPECの貢献のためのロードマップ」を承認。

・既存の域内の取組を基礎として、可能な限り早期のFTAAPの実現へのコミットを確認。

・FTAAPの実現に関連する問題に関する共同の戦略的研究を開始し、2016年末に結果を報告。
・RTAs/FTAsの情報共有及び能力構築を実施。
・貿易自由化・円滑化等への取組を加速。

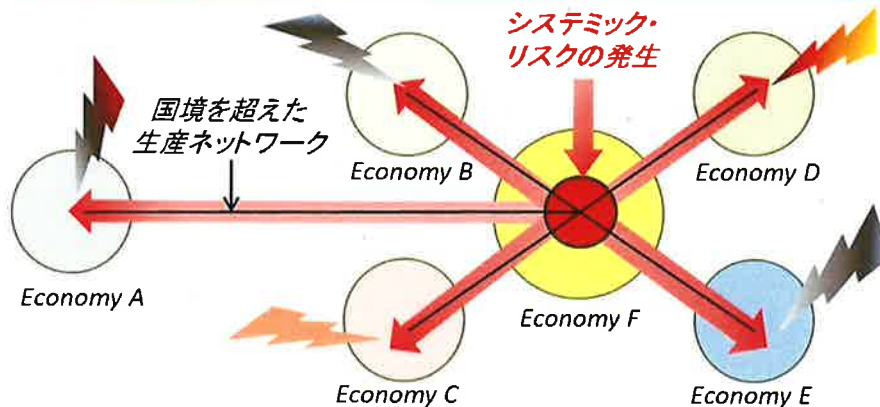
成果2. 地域経済統合の進展(ヴァリュー・チェーン強靱性の向上)

<背景>

アジア太平洋地域における相互依存関係の深化

- ヴァリュー・チェーン途絶リスクの増大・質的变化
- 新たな投資・事業リスクの発生

一国のリスクが周辺国の経済活動に影響
【システミック・リスク(自然災害、市場、地政学、インフラ、規制・政策等に係るリスク)】

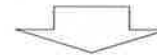


一企業・一国でリスク管理することは困難

<取組み>

ヴァリュー・チェーン統合分析プロジェクト
(リスクの見える化、数値化)

- ◆ 2012～2013年度、経産省にて国際産業ネットワーク上のリスクを定量的評価、および強靱性(value chain resilience)の把握するための調査を実施。



- ◆ 2014年、PSUにて、以下4つのフェーズに従い、強靱性を定量分析するための調査を実施。
 - ・リスク指数の定量分析
 - ・リスク耐性指数の定量分析及びケーススタディー
 - ・連結度合いの定量分析
 - ・上記3点に基づく強靱性向上による経済的影響の定量分析

- 閣僚声明において、上記調査の完成を歓迎し、今後も各国が協調して強靱性向上に取り組んでいくことを実務者に指示。
- 「グローバル・ヴァリュー・チェーン発展と協力推進のためのAPEC戦略的ブループリント」(首脳宣言附属書B)を承認。GVC強靱性もワークストリームの一項目として位置づけられる。

成果3. 地域経済統合の進展(製造業関連サービス、環境サービス)

製造業関連サービス

- ✓ 経済におけるサービスの重要性の高まり
- ✓ 製造業におけるサービスの役割の高まり



- ①企業ヒアリングを通じたケーススタディの実施
- ②製造業関連サービスの自由化、円滑化、協力について議論
→ 2015年中に行動計画を作成

環境サービス

- ✓ 環境物品・サービスの自由化の重要性は、APECにおいても繰り返し強調
- ✓ 環境物品については、54品目について2015年末までの関税引下げにコミット



- ①環境サービスの範囲の検討
WTOで定義する環境サービスよりも広い範囲(エネルギー、地球環境対策等)も議論。
- ②環境サービスの自由化、円滑化、協力について議論
→ 2015年中に行動計画を作成

成果4. 革新的な発展、経済改革及び成長の促進(女性の活躍推進)

APEC地域の経済発展のためには、女性の新たな経済機会の創出が不可欠。

- ①APEC2014年女性と経済フォーラムの開催
- ②女性活躍推進事例の共有

- 「APEC2014年女性と経済フォーラム」の成果を歓迎。
- 「APEC女性活躍企業50選報告書」を歓迎。【閣僚声明】

<APEC女性活躍推進企業50選報告書>

(プロジェクトの目的)

経済活動における女性のこれまでの貢献について社会に認識を広め、女性が企業や組織で指導的地位を担い、経済活動の中でさらに活躍するための機会拡大を後押しすることを目標に、APEC地域内の約50企業・組織における女性活躍推進事例を取り上げ、APEC地域内外に広く発信、共有する。

(参加エコノミー・掲載企業)

			企業名	事業概要	女性管理職比率
豪州(3社)	インドネシア(3社)	日本(5社) →	三州製菓(中小)	高級米菓製造販売	23%
韓国(2社)	マレーシア(5社)	NZ(3社)	資生堂	化粧品製造販売等	27%
PNG(2社)	フィリピン(6社)	ロシア(2社)	高島屋	百貨店	29%
シンガポール(2社)	台北(4社)	タイ(1社)	光機械製作所(中小)	専用工作機械製造	20%
米国(7社)	ベトナム(3社)	14エコノミー48社	モーハウス(中小)	授乳服製作販売	100%

成果5. 包括的な連結性及びインフラ開発の強化

2013年首脳宣言でAPEC連結性に関する枠組みに合意し、これを具体化した「ブループリント」の策定を決定。

連結性(コネクティビティ)の強化

- ① 物理的コネクティビティ(インフラストラクチャー)
- ② 制度的コネクティビティ(規制や貿易手続きの調和等)
- ③ 人と人とのコネクティビティ(国境を越えた教育、観光等)

地域における物理的、
制度的、人的連結性の強化
に向けた具体的行動

キャパシティ・ビルディング
のための日本の取組み

- ① セミナー開催
- ② ガイドブック作成

➤ 2015－2025年 APEC連結性ブループリント
(首脳宣言附属書D)を承認。

➤ インフラ開発投資の質に関する、セミナー及
びガイドブックを閣僚声明において歓迎。

インフラ開発投資の推進にあたり、①ライフサイクル・コスト、環境等への影響、安全性等の「インフラの質」を勘案すること②環境社会配慮、透明性などの質の高いスタンダードを確保しつつ、現地の人々の雇用や能力構築につなげていくことが重要であることを言及。

参考：「インフラの質」に関するセミナー開催、ガイドブック作成

「インフラの質」の重要性

ライフサイクルコスト

「連結性ブループリント」において
「インフラの質」を重要な要素として位置づけ

安全性

環境等への影響

耐久性が高く環境配慮型インフラの普及促進

APECエコノミーにおける効率的な
インフラ開発投資を促進するとともに、
APEC地域における日本企業の投資を促進

インフラ開発投資のキャパシティ・ビルディングのためのセミナーの開催・ガイドブック作成

＜セミナーの開催＞

8月4日～7日に東京で、主に途上エコノミーにおいてインフラ開発投資を担当している政府職員等に向けた、キャパシティビルディング・セミナーを開催（17エコノミー、32名参加）

＜インフラの質のガイドブック＞

（概要・ポイント）

- ✓ インフラ事業は長期間に渡り、経済社会に広く影響することから、長期の視点に立って、インフラの質を重視することが重要。
- ✓ インフラの質においては、ライフサイクル・コスト、環境等への影響、安全性といった要素が重要。
- ✓ インフラの質を確保する枠組として、調達の際の資格審査と提案審査がともに重要。

我が国が主導して、インフラ開発投資に際して、重要となる「インフラの質」の内容とその確保のための方策に関する理解をAPEC域内で共有